



はがくれつりふね

*Impatiens hypophylla Makino*

紀伊半島から四国、九州、南鮮にも分布する1年生草本で溪谷林下の湿気のある地に生える。全体の作りはツリフネソウに似ているが茎の上部には時に無色の縮れた毛を生じ、葉の鋸歯は前方の縁に小突起がある特殊型で、比較的大きく、頂に近い葉では基脚が耳状に拡がり、ここではひげ状の鋸歯となる。花梗は腋生しながらその葉の裏へかくれ、赤色の毛を生ぜず、花は淡紫色でツリフネソウより薄いが濃紫色の脈状紋を飾る。また距は曲るがくるくる巻くことはしないなどの区別点がある。和名は葉隠れで、花序の姿勢を示す。

りゅうがん (龍眼)

*Euphoria Longana Lam.*  
(= *Nephelium Longana Camb.*)

南支 (福建、広東、広西、四川の各省) 原産の常緑小喬木、雌雄異株、高さ10m許、幹は暗褐色、無毛。小枝は褐緑色、有毛、偶数羽状複葉は互生し、小葉は2-5対、通常4対、側脈は明瞭、小葉の長さ10cm許、革質、全縁、長楕円形、先端やや尖り、短柄あり、上面強光沢があって濃緑色を呈し、下面はやや淡色。葉腋より短毛ある円錐花序を直立して生じ、径2mm許の黄白色、芳香ある小花を密開する。萼は5深裂、裂片は卵形、短毛あり、花弁5個、鐘形、黄白色、内面は有毛、萼片と略同長、雄蕊は通常8個。果実は径2.5cm許、1花序に10数個を生じ、表面淡褐色、薄い殻をなし、細粒があり粗面、種子は1個、暗褐色で光沢あり、周囲の仮種皮は白色透明、甘味あり、生食又は乾燥後食用とする。

れいし (荔枝)

*Litchi chinensis Sonnerat*

南支 (広東、福建両省中心) 原産の常緑小喬木、雌雄異株、高さ5-10mに達し、広く枝を張り、円い樹冠をなす。枝は平滑褐色で、皮目が多い。葉は偶数羽状複葉、長さ8-12cm、互生し、小葉は2-3対、厚い革質、側脈不明瞭、広披針形、先端漸尖頭で鈍端、短柄があり、上面濃緑色、光沢あり、下面灰色、中肋はやや赤味を帯びる。花は黄緑色、小形にて径3mm許、枝頂或は枝端に近い葉腋より出る大なる円錐花序の上に着く。萼片は広鐘形有毛、5齒あり、花弁を欠き、雄蕊は通常8個、柱頭2岐、子房及び花糸に毛がある。果実は下垂し、球形で、径2-3cm許、表面は鱗甲状突起に覆われ、1個の黒褐色大形種子とその周囲の乳白色透明の仮種皮がある。仮種皮は甘酸適度で、芳香があり、果樹として広く東亜に栽培される。

第 3450 図



第 3451 図



*Aesculus Hippocastanum L.*

ヨーロッパ半島南部原産の高さ20-25mに達する大形の落葉喬木。枝条は太く暗褐色で冬芽は長く、四稜は明らかでなく、粘りが少ない。長柄を有する大形の掌状葉を対生し、小葉は5-7個、無柄狭倒披針形、先端は急に鋭尖し、基部は狭楔形で小葉の間に空間が広く、縁辺は波形を呈し更に鈍鋸歯がある。トチノキに比して葉裏の毛は早く脱落し、葉型は小さく、鋸歯が明かである。初夏の候、大形の円錐花序を枝端に生じ、その高さ10-15cm、大形の美花多数を開く。花は白色に紅彩があり、トチノキより大形、花弁は4個不齊、両果花は7雄蕊、1雌蕊、雄花は雌蕊退化す。果実は稍々球形で、熟すれば3裂し、果皮に剛刺状突起が著しい。パリ市などヨーロッパ都市におけるマロニエは主として本種であり、本邦でも時に庭園に栽植される。

やぐるまかえで

*Acer pictum Thunb. var. dissectum*  
*Wesmael. subvar. subtrifidum Makino*  
(= *A. Mono Maxim. var. nikkoense*  
*Honda subvar. subtrifidum Honda*)

山地に生ずる小喬木。イタヤカエデの1品で、葉は長柄をもって対生し、7乃至5深裂し、裂片は披針形で、長く鋭尖し、裂片は更に3尖し、或は波縁をなし、時に中辺に小突起があり、葉は質薄く、裏面に白色短毛を有する。葉形がこれに似て裏面に白色短毛を有しない1品があり、ケナシヤグルマカエデと称せられる。共に秋に到って紅葉せず、黄葉することはイタヤカエデと同じである。

ほそえかえで

*Acer capillipes Maxim.*

関東、四国、九州の山地に生ずる落葉喬木。樹皮は緑色で平滑無毛、葉は有柄で対生し、卵形、底部時に3裂又は僅かに5裂し、中央片が最も大きく長く鋭尖し、基部は心臟形又は円形、縁辺に細重鋸歯があり、下面往々粉白色を呈する。葉形はウリハダカエデ (*Acer rufinerve Sieb. et Zucc.*) に比して中央片が大きく長い。花は5月頃葉と共に生じ、総状をなして下垂し、緑白色を呈し、小梗は細く長さ4-8mm、無毛。雌雄異株で、萼片、花弁各5個、雄蕊8個ある。翅果の翅は、互にやや直角をなして開き、無毛、長さ1.5cm許ある。和名ホソエカエデは細長な小梗を有するの意である。



第 3453 図



第 3454 図

